登録番号

認仕-1224

宇 宙 開 発 用 信 頼 性 保 証 変 成 器 (アウトガス対応) JAXA 2110/A153 形

個 別 仕 様 書

作成・制定:株式会社 タムラ製作所

発行:国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

記号	年/月/日	改 訂 内 容
NC	2011/7/25	新規作成
Α	2017/7/3	1.1 項 『適用範囲』に"なお、本仕様書…2拠点とする"文言追加 3.2 項『外観、寸法、表示など』 "若柳タムラ製造品についてはWを表示…"の文言追加 (4)に表示例追加
В	2018/10/25	3.1 項 表 2 認定の範囲 番号 6:端子構造・材料 端子めっき;すず+銅 ⇒ はんだ(Sn90)へ変更
С	2019/4/1	1.1 項 『適用範囲』の製品の生産場所"㈱タムラ製作所 (埼玉県坂戸市)"文言削除 3.2 項『外観、寸法、表示など』 "若柳タムラ製作所生産品の場合は"と"タムラ製作所生産品に対しては識別記号は付与しない。"の文言削除 (4)の表示例の"タムラ製作所"削除 本文と表示例の"製造ライン識別記号"を"製造ライン記号"に修正
D	2019/12/13	3.2 項『外観、寸法、表示など』 (4)「一連番号」→「一連番号と製造ライン記号」(記載漏れ) 4.5 項『試験及び検査の変更』の"JAXA-QTS-2110 の付則 A に規定された試験及び検査からの変更はない。"を絶縁抵抗試験の試験電圧の印加時間を短縮する内容に変更

目 次

1. 総則	
1.1 適用範囲	1
1.2 部品番号	1
1.3 定格	1
2. 適用文書など	2
3. 要求事項	2
3.1 認定の範囲	2
3.2 外観、構造、寸法、表示など	3
3.3 性能	5
3.4 電気的特性	8
4. 品質保証条項	g
4.1 工程内検査	g
4.2 認定試験	g
4.3 品質確認試験	g
4.4 長期保管	
4.5 試験及び検査の変更	g
5. 引渡しの準備	g
6. 注意事項	Ç

宇宙開発用信頼性保証変成器(アウトガス対応)

JAXA 2110/A153 形 個別仕様書

1. 総則

1.1 適用範囲

本仕様書は、宇宙開発用信頼性保証トランス・コイル(JAXA-QTS-2110)のうち、コア 材料にフェライトを使用する変成器(JAXA 2110/A153 形)について規定する。

なお、本仕様書による製品の生産場所は若柳タムラ製作所(宮城県栗原市)とする。 また、アウトガスの要求に対応した構造仕様のものとする。

1.2 部品番号

部品番号は、JAXA-QTS-2110 の A.1.2 項に従って次のように表す。調達者が指定する部品番号がある場合は、対応する本仕様書の部品番号を個別シートに明記しなければならない。

注(1) "JAXA"は、宇宙開発用共通部品等であることを示す。"J"と省略できる。

1.3 定格

定格は表1による。

表1定格

項目	JAXA-QTS-2110	識別	番号
人	適用条項	T000	T001 以降
グレード	A.3.3.8	6(開)	放形)
動作周囲温度	_	-55°C∼+100°C	
クラス	A.3.6.1	S (130°C)	
動作周波数	_	200kHz	個別シートに示す
入力電圧	_	40Vrms	
出力電力	_	66.36VA	

2. 適用文書など

適用文書は、JAXA-QTS-2110 の A.2.1 項による。

3. 要求事項

要求事項は JAXA-QTS-2110 の A.3 項によるほか、次による。

3.1 認定の範囲

認定の範囲は表2による。

表 2 認定の範囲

番号	項目	範 囲	
1	クラス(最高動作温度)	S (130℃) 以下	
2	外部/内部取付構造	はんだ付け及び接着の併用	
		端子含まない:34×36.2×14 ^H 以下	
	外形寸法(mm)	端子長さ : 4.4 以下	
		(端子含む:34×45×14 ^H 以下)	
	全容積(cm³) (¹)	17.23 以下	
	動作電圧	254Vpeak 以下	
3	絶縁系	ポリイミド又は同等以上	
	電界強さ	127V/mil 以下	
4	マグネットワイヤ寸法 (mm)	φ0.2 以上	
4	被覆材料	ポリエステル又は同等以上	
5	グレード	6	
	絶縁、含浸及び充てん材	含浸・エポキシ	
		ガルウィング	
	端子構造・材料	りん青銅 0.2mm×1.5mm 以上	
		端子めっき はんだ (Sn90)	
6		MIL-STD-202 試験方法 211 条件 A	
	 端子強度	加える力 2.2N 以下	
		JAXA-QTS-2110 A.4.4.5.1.2 c)	
		曲げ荷重 2.2N 以下	
	 衝撃	MIL-STD-202 試験法 213	
7		試験条件 E(1,000G 0.5ms)以下	
	 振動	MIL-STD-202 試験法 204 試験条件 D 以下	
		MIL-STD-202 試験法 214 試験条件 II-H 以下	
8	コア材料	フェライト	
	コア形状	外 鉄 型 (PQ 型)	
9	耐電圧	AC720V 以下	
10	アウトガス	TML: 1.0%以下、CVCM: 0.1%以下	

注(1) 端子部は除く。

3.2 外観、構造、寸法、表示など

外観、構造、寸法及び質量は図1による。表示事項は、JAXA-QTS-2110のA.3.4.1項に従って次のとおりとする。ただし、個別シートに規定がある場合は、個別シートの規定に従って表示する。表示面は図1による。また、製造ラインの記号として一連番号の後、又は個別シートの指定箇所に従ってWを表示する。

- (1) 本仕様書の部品番号
- (2) 端子の識別(図1参照)
- (3) ロット識別記号
- (4) 一連番号と製造ライン記号

<表示例>

(5) 製造商標

なお、表示可能な面積が小さい場合には、上記の事項のうち、次の順序で表示を省略する。

- (1) 部品番号の一部 "2110/A"
- (2) 製造商標
- (3) ロット識別記号

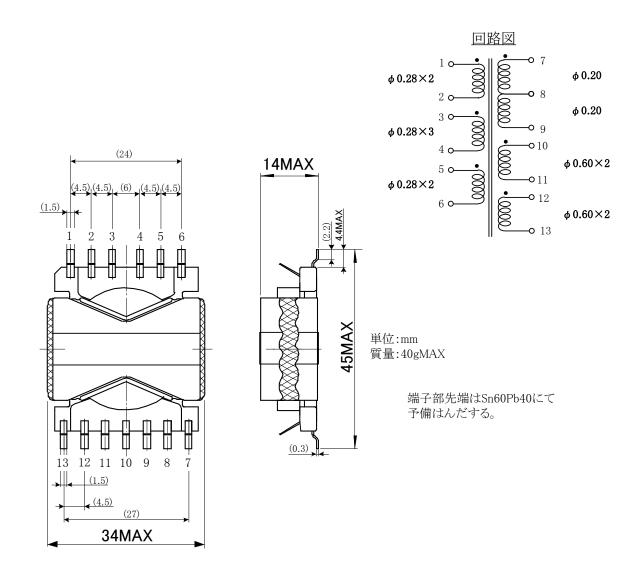


図1 外観、構造、寸法、表示及び質量(1)

注(1) 図 1 は、認定を受けた製品の内容を示す。認定の範囲に含まれる各製品の外観、構造、寸法、表示及び質量は、個別シートによる。

3.3 性能

性能は、一覧を表3に示す。

表 3 性 能 (1)

項目	JAXA-QTS-2110 要求事項 番号	性能
電気的特性	A.3.7.1	表4による。
耐電圧	A.3.7.2	常気圧:AC720V、1 分間 減気圧:AC320V、1.1kPa、1 分間(²)
層間耐電圧	A.3.7.3	(1-2)間に 400kHz、正弦波 80Vrms、5±0.5s
絶縁抵抗	A.3.7.4	DC500V、a) 10,000MΩ以上
コロナ電圧	A.3.7.5	放電開始電圧以下である為、適用しない
温度上昇	A.3.7.6	30℃以下(周囲温度 100℃)
過負荷	A.3.7.7	周囲温度:130℃一温度上昇実測値(³)
導通	A.3.7.8	JAXA-QTS-2110 付則 A の要求どおり
端子強度	A.3.8.1	引っ張り試験:加える力 2.2N 曲げ試験:曲げ荷重 2.2N
はんだ付け性	A.3.8.2	MIL-STD-202 方法 208 はんだごてによる方法
はんだ耐熱性	A.3.8.3	MIL-STD-202 方法 210 試験方法 A
気密性	A.3.8.4	本品はグレード6の為、適用しない。
耐振性	A.3.9.1	高周波振動: JAXA-QTS-2110 付則 A の要求どおり (³) ランダム振動: JAXA-QTS-2110 付則 A の要求どおり (³)
衝撃	A.3.9.2	試験条件:E (1,000G 0.5ms)(³)
熱衝撃	A.3.9.3	JAXA-QTS-2110 付則 A の要求どおり
浸せき	A.3.9.4	本品はグレード6の為、適用しない。
耐湿性	A.3.9.5	JAXA-QTS-2110 付則 A の要求どおり(³)
耐炎性	A.3.9.6	本品はグレード6の為、適用しない。
耐溶剤性	A.3.9.7	本品はグレード6の為、適用しない。
寿命	A.3.10.1	周囲温度:130℃-温度上昇実測値

- 注(1)表3は、認定を受けた製品の性能を示す。認定の範囲に含まれる各製品の性能は、 個別シートによる。
- 注(²)耐電圧(減気圧)試験において、端子部はチューブ、粘土等で絶縁保護を施し、 試験を実施する。
- 注(3)図2の基板に、図3に示す手法にて、基板に取り付けて試験を実施する。

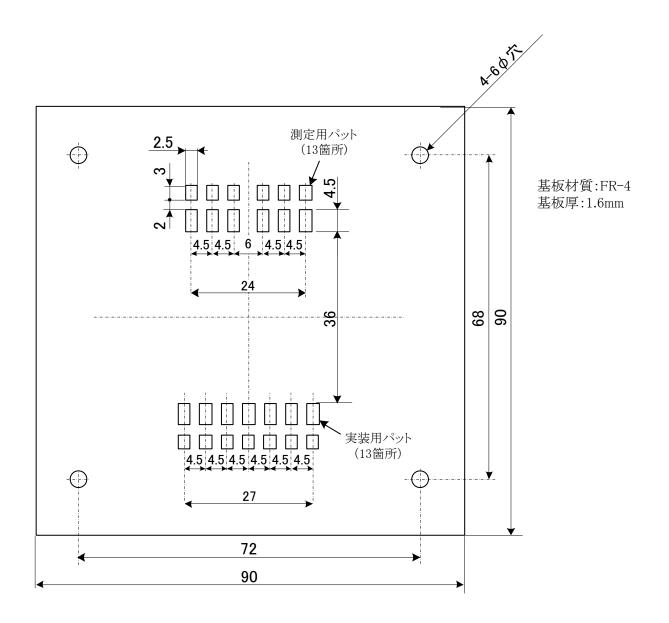
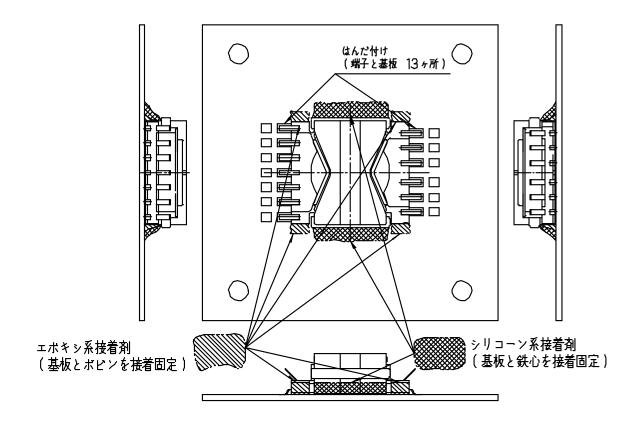


図 2 評価用基板寸法



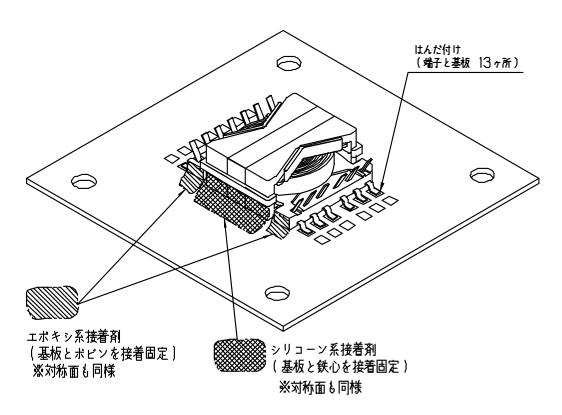


図3 基板取付方法

3.4 電気的特性

電気的特性は表4による。

表 4 電気的特性(1)

項目	定格		
 動作周波数	200kHz±10%		
電源電圧	40Vrms		
巻線比	$(1-2) / (5-6) = 1.00 \pm 5\%$ $(3-4) / (5-6) = 1.00 \pm 5\%$ $(7-8) / (5-6) = 2.25 \pm 5\%$ $(8-9) / (5-6) = 2.25 \pm 5\%$ $(10-11) / (5-6) = 0.417 \pm 5\%$ $(12-13) / (5-6) = 0.417 \pm 5\%$		
インダクタンス	$(5-6) = 40 \mu\text{HMIN}$ at 10kHz , 0.05V		
直流抵抗 (at 20℃)	$(1-2) = 190 \text{m} \Omega \text{MAX}$ $(3-4) = 140 \text{m} \Omega \text{MAX}$ $(5-6) = 130 \text{m} \Omega \text{MAX}$ $(7-8) = 1.8 \Omega \text{MAX}$	$(8-9) = 1.7 \Omega MAX$ $(10-11) = 30 m \Omega MAX$ $(12-13) = 25 m \Omega MAX$	
出力	66.36VA		
極性 1,3,5,7,8,10,12 は同極であること。			
試験回路	200kHz 発振器 正弦波 40Vrms 2 3 3 4 Ω 5 Ω 6 0 0 10 11 5 Ω		

注(1)表4は、認定を受けた製品の電気的特性を示す。認定の範囲に含まれる各製品の電気的特性は、個別シートによる。

JAXA-QTS-2110/A153D 令和元年 12 月 13 日 制定

4. 品質保証条項

品質保証条項は、JAXA-QTS-2110 の A.4 項による。

4.1 工程内検査

工程内検査は、JAXA-QTS-2110 の A.4.1 項による。

4.2 認定試験

認定試験は、JAXA-QTS-2110 の A.4.2 項による。

4.3 品質確認試験

品質確認試験は、JAXA-QTS-2110 の A.4.3 項による。

4.4 長期保管

長期保管は、JAXA-QTS-2110の A.4.5 項による。

4.5 試験及び検査の変更

a)絶縁抵抗試験

(規格) MIL-STD-202 試験法 302 では下記のように規定している。 「規定電圧印加時間(2分間)に対し、電圧印加開始後測定器の 読取値が増加若しくは安定傾向にある場合、規定された 電圧印加時間(2分間)の前に試験を終了することができる。」

(試験時間の短縮)

これまでの試験及び検証結果から、試験電圧印加後から 2 分までの間で 測定器の読取値が増加、若しくは安定傾向にあることが判明している。 このため、上記規格条件を満たし、かつ、要求仕様の 1 万 $M\Omega$ 以上に 対して 10 倍以上の測定値(10 $DM\Omega$ 以上)に到達した時点で 2 分を 経過しなくても電圧印加を終了することがある。

5. 引渡しの準備

引渡しの準備は、JAXA-QTS-2110 の A.5 項による。

6. 注意事項

注意事項は、JAXA-QTS-2110の A.6 項による。